

令和2年

9月16日(水)

(通算359回)

## 旧東海道伊勢国を歩く③ 内部～四日市

参加者	11名	歩数	10,000歩
-----	-----	----	---------

暑さ対策で毎年7・8月を休会としている為、3ヶ月ぶりの例会開催。新たに会員となった桜井朱美さんを迎え、ナローゲージの「あすなろ鉄道」四日市駅を10時02分に出発し、終点内部(うつべ)駅まで16分間の列車旅を楽しむ。内部駅を出てすぐ旧東海道へ入り、しばらく歩いて小古曾(おごそ)神社を参拝。参道入口に建つ慈現山観音寺の山門には鰐が飾られているが、黄檗宗特有のものとのこと。時折心地よい風が吹くが気温は徐々に上がり、20分程歩いて日永の追分で休憩。湧き水で喉を潤す。日永は江戸時代から「日永のうちわ」で有名なところ。次に日永郷土資料館に着くが、生憎9月から閉館になっていてガッカリ。気を取り直して次のポイント名残松へ。さらに進み日永の一里塚、日永神社を過ぎると昼時になり、興正寺に立ち寄った後、街道から少し入った小公園で昼食を楽しむ。午後は大宮神明社を経て、江戸時代から続く鈴木薬局を見学の予定であったが、すでに壊され敷地跡は鈴木邸になっていた。終点の四日市駅も近くなり、足取りも軽く最終目的地の鶴森神社、浜田城址へ。再建された冠木門と城址碑をバックに記念撮影の後、駅ビル内の喫茶コーナーで歓談後14時頃解散する。

記 奥村 正忠



浜田城址



日永の追分



湧き水で喉を潤す